

# 令和7年度女性活躍推進セミナー事業 実施報告

女性の職業生活における活躍を推進するため、企業の経営者等ならびに働く女性、それぞれを対象としたセミナーを開催しました。

令和7年10月4日（土）、市内で女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む企業等のトップによる「鹿児島市女性活躍応援リーダーズ」を発足。同日、企業、求職者や学生等を対象とした「女性活躍応援リーダーズセミナー」として、[第1部] リーダーズ企業3社による取組事例発表、[第2部] 3社と学生代表とのパネルディスカッションを実施しました。

また、12月13日（土）開催の「女性のためのキャリアデザインセミナー」は、基調講演とトークセッションの2部構成で実施。講師ならびにロールモデルを交え、和やかな雰囲気の中で参加者同士の交流が活発に行われました。

## 女性活躍応援リーダーズセミナー

鹿児島市では、人口減少・少子化に伴う地域への影響を踏まえ、「若い世代に選ばれる、誰もが生き生きと活躍できるまちづくり」を推進しています。その一環として、誰もがいきいきと活躍できる環境づくりを本市とともに推進していただくため、市内企業・大学のトップ14名で構成する「女性活躍応援リーダーズ」を発足し、令和7年10月4日（土）、サンエールかごしまにて発足式およびセミナーを開催しました。

### 【概要】

- ◆ 日時：令和7年10月4日（土）10：00～12：00
- ◆ 会場：サンエールかごしま2階講堂
- ◆ 参加者：151名
- ◆ 内容

発足式（市長挨拶、参画証授与）

第1部：先進取組事例発表

株式会社鹿児島銀行

城山観光株式会社

株式会社現場サポート

第2部：学生×企業 パネルディスカッション



### 鹿児島市女性活躍応援リーダーズ（参画企業）

女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進などに積極的に取り組む14社・団体（五十音順・敬称略）

リーダーズ企業名	役職	氏名
株式会社植村組	代表取締役社長	植村 一
株式会社カクイックス	代表取締役社長	岩元 文雄
株式会社鹿児島銀行	取締役頭取	郡山 明久
鹿児島信用金庫	理事長	市川 博海
鹿児島製茶株式会社	代表取締役社長	森 裕之
国立大学法人鹿児島大学	学長	井戸 章雄
株式会社健康家族	代表取締役社長	藤 雄氏
株式会社現場サポート	代表取締役社長	吉田 竜二
城山観光株式会社	代表取締役社長	矢野 隆一
株式会社新日本科学	代表取締役会長兼社長	永田 良一
株式会社東条設計	代表取締役会長	東条 正博
南国殖産株式会社	代表取締役社長	上野 総一郎
株式会社南九州ファミリーマート	代表取締役社長	飯塚 隆
らしさサポート株式会社	代表取締役社長	山下 美貴子

## 第1部 先進取組事例発表

女性や若者など、誰もが働きやすい職場づくりやキャリア形成支援の機運を高めることを目的として、リーダーズ参画企業の取組をまとめた「鹿児島市女性活躍応援リーダーズシート集」を作成。セミナー当日はポスター形式にしてそれぞれの取組を紹介しました。参加した企業、学生ともに興味深く見る姿がありました。

セミナーの第1部ではリーダーズ企業を代表して、株式会社鹿児島銀行、城山観光株式会社、株式会社現場サポートの3社による先進取組事例発表が行われました。

### 【事例発表の主な内容】

#### ■ 株式会社鹿児島銀行

##### ▶ 女性登用の推進

行動計画に基づき管理職・役席者の女性比率向上を重点施策として実施

##### ▶ キャリア支援の強化

研修・面談・再雇用制度を整備し、多様なキャリアパスを支援

##### ▶ 両立支援の充実

育休取得100%や短時間勤務など、仕事と家庭の両立を全面的にサポート

#### ■ 城山観光株式会社

##### ▶ 働きやすい環境整備

託児所設置や短時間勤務制度で育児・介護と仕事の両立を支援

##### ▶ 働き方改革の推進

テレワーク導入、会議の見直し、長時間労働抑制など労務環境を改善

##### ▶ 女性活躍の推進

キャリア研修や制度見直しにより、女性管理職比率が着実に上昇

#### ■ 株式会社現場サポート

##### ▶ 柔軟な働き方の整備

時短・フレックス・リモートを組み合わせ、多様な事情に対応

##### ▶ キャリア継続支援

働き方変更や復職支援を通じ、長期的なキャリア形成を後押し

##### ▶ 定着率向上の実現

制度整備により離職率が大幅に改善し、働き続けやすい環境を構築。



#### 参加者から自社で取り入れたいと挙げられた主な取組



- ・ 無制限の時短勤務制度の導入
- ・ 柔軟な働き方（フレックス・リモート）の拡充
- ・ 休暇制度の充実・取得促進
- ・ 失敗を許容する文化づくり（心理的安全性の向上）
- ・ 多様な働き方に対応できる制度整備
- ・ 若手が成長できる仕組み・制度の構築
- ・ 風通しの良い職場づくり（コミュニケーション改善）
- ・ インターンシップの受け入れ方法の見直し・強化
- ・ 社員の家族支援や地域とつながる取組の導入
- ・ 勤務時間管理の見直し（時短・フレックス・休暇の運用改善）



## 第2部 パネルディスカッション

「学生と企業で考える“働きたい”企業とは？」をテーマに、第1部で取組事例を発表したリーダーズ企業の代表者4名と市内の大学生6名、鹿児島市女性活躍アドバイザーの11名による意見交換を行いました。

### 【意見交換の主な内容】

#### ■ 学生への事前アンケート等から、企業選びで重視するという声が多かった「成長できる環境」や「やりがい」について

学生：「対人・対サービスでの付加価値創出」や「感謝されること」をやりがいと定義。失敗を成長の機会と捉え、失敗しても責められず、再度トライさせてもらえる環境が自分の成長につながると思う。

企業：失敗した際に個人の人格を責めるのではなく、再発防止策を考えるようにしている。若手社員に対する早期の挑戦機会やキャリアチャレンジ制度による成長支援を行っている。

#### ■ 企業選びの基準について

最終的な決め手は、自分が馴染める雰囲気の家かどうか。インターンシップの際は、社員同士のコミュニケーションや先輩・後輩の関係性を観察している。

#### ■ 鹿児島で働くことのメリットについて

生まれ育った地域で働くことで、地域の人々と共に成長していく感覚がある。家族のサポートがあることで心の余裕は生まれ、それが自己成長や人間力の向上につながる。



### 参加者の声



- 学生の“生の声”が聞いてとても参考になった。
- 学生と企業の率直な意見交換がリアルで興味深かった。
- 学生が企業選びで何を重視しているか理解できた。
- 企業側の本音や大切にしている点が聞いて良かった。
- 学生と企業の視点の違いが見えて学びが多かった。
- もっと時間が欲しいと感じるほど有意義だった。
- 普段聞けない若者の考え方を知る貴重な機会だった。
- 学生の素直な意見に共感し、自社の採用や育成の参考になった。
- 地元就職に関する双方の考えを理解できた。

# 女性のためのキャリアデザインセミナー 実施報告

働く女性と、学生を含むこれから働きたい女性を対象に、自分らしい働き方やライフプランについて考える「女性のためのキャリアデザインセミナー」を開催しました。セミナーは基調講演とトークセッションの2部構成で行いました。

第1部の基調講演では自分らしく働くために、まずは自分自身を理解するためのヒントを、第2部のトークセッションではワールドカフェ方式で、鹿児島市内で働く先輩女性をロールモデルとして、悩みや日頃のモヤモヤを語り合い、今後の生き方や働き方についての意見交換を行いました。

## 【概要】

- ◆ 日時：令和7年12月13日（土）10：00～13：00
- ◆ 会場：サンエールかごしま5階多目的フロア
- ◆ 参加者：40名
- ◆ 内容

### 第1部：基調講演

「キャリア形成もバランスも両方大切にして生きていく」  
～性格診断システム「エニアグラム」で自分を知ろう～

講師：Career Design Support CREW 代表 武内 麻弥 氏

### 第2部：ロールモデルを交えたトークセッション



## 第1部 基調講演

### 🌀 キャリアと生活のバランスについて

- ・人は「子ども・学生・職業人・家庭人・市民・余暇人」など複数の役割を持ち、その比重は人生の中で変化していく

### 🌈 ライフ・キャリア・レインボーの活用

- ・現在の役割と、これから望む役割を合計100%で可視化するワークを実施

#### 〈気づきのヒント〉

- 「自分は本当はどうしたい？」
- 「自分はこれから何をいかしていけそう？強みは何？」
- 「本当にやってみたいことは何？」
- 「バランスをとるために活かせそうな自分の性格は？」



### 🕒 エニアグラムによる自己理解

- ・MBTIが「行動のスタイル」を扱うのに対し、エニアグラムは行動の動機・深層心理に焦点
- ・9つのタイプ（改革・助ける・達成・個性・調べる・信頼・熱中・挑戦・平和）を紹介し、自分の性格傾向や強みに気づくワークを実施




### 🌟 まとめ

- ・キャリアと生活のバランスは固定ではなく、自分の価値観や役割の変化に応じて見直してよい



## 第2部 ロールモデルを交えたトークセッション

市内企業で活躍する先輩女性をロールモデルとして交え、カフェのようなリラックスした雰囲気の中でグループ対話を行いました。

-  **ラウンド1：キャリアデザイン**  
やりたいことを実現するためのステップや、自分の強みの見つけ方について意見を交わしました。
-  **ラウンド2：わたらしい働き方・生き方って何だろう**  
家事や育児負担、仕事との両立など、日々の生活におけるリアルな悩みや課題感を共有しました。
-  **ラウンド3：フリートーク**  
自分の時間をつくる工夫やパートナーとの役割分担について話し合い、100点を目指さず肩の力を抜くことの大切さが共有されました。



### 参加者の声

- エニアグラムを初めて学び、自分について知るきっかけになった。
- 様々な年代・職業の方とお話しできて楽しかった。
- 言葉にすることで、自分の考えが整理できた。
- ロールモデルの方の話が聞けてよかった。
- 色々な方の考えを知って共感し、行動する勇気をもらった。
- とても楽しく自分を大事にできた時間だった。
- 同じような悩みを共有でき、和やかな雰囲気でも元気をもらった。
- 「常に自問自答すること」が大切だと思った。
- 自問自答を繰り返す、自分ファーストを大切にしたいと思った。
- 柔軟に生きてみようと思った。
- タイミングを逃さないことが大切だと言われたので、そのタイミングに気付けるようにしたい。
- 新しい人と話することで、新しい視点や考えに触れることができた。
- 自分の強み、弱み等、自分自身の理解を深めて、仕事に活かしていきたい。